



モズクの県内消費拡大を図ろうと、「もずくの日」イベント(県もずく養殖業振興協議会主催)が15日、那覇市のパレットくもじ前イベント広場で開かれた。同協議会が、毎年4月の第3日曜日を「もずくの日」と制定し、ことし



新鮮なモズクが振る舞われた「もずくの日」イベント15日、那覇市のパレットくもじ前イベント広場

消費拡大へ食べ方紹介

で10年目となる。イベントで同協議会の国吉真孝会長は「酢の物以外にも、鍋やみそ汁などさまざまな食べ方を紹介し、一層の消費拡大につなげたい」とあいさつした。

会場では、うるま市勝連で採れた生モズクの試食があり、麺つゆの味

「もずくの日」

付けで、新鮮なとろみのあるモズクが振る舞われた。横浜市から観光に來ていた石川美津子さん(70)は「モズクは体に良いと聞いている。とてもおいしかった」と話していた。また冷凍パツクの販売やレシピ集の無料配布も行われた。